

基本戦略

(基本目標1) 国内外から人々を引き付けるまちを創り、安心して働くことができる雇用を生み出す～移住・定住の促進と交流の活発化～

【数値目標】	現状値 (H27)	目標値 (H31)
市内総生産額（十億円）	2,325 (H24)	2,541
年転入超過数（人）	-37 (H26)	400

【施策①】雇用（しごと）の場の拡大と雇用の質の向上

【施策②】農水産業の振興

【施策③】人材育成の支援と移住定住の促進

【施策④】交流人口の拡大

主な取組み

- ・新事業の創出支援・地場企業の活性化支援により地域産業の競争力強化を図ります。
- ・生産者と消費者の交流を拡大し、6次産業化・農商工連携を推進します。
- ・地域人材を育成し、定着を図ります。
- ・中心市街地の活性化と回遊性の向上を図ります。等

(基本目標2) 安心して子どもを産み育てられるまちを実現する～少子化の克服と次世代育成～

【数値目標】	現状値 (H27)	目標値 (H31)
出生数（人）	7,039 (H26)	7,000以上

【施策①】結婚・妊娠・出産支援の推進

【施策②】子ども・子育て支援の充実

【施策③】仕事と子育ての両立支援と若者の経済的安定

主な取組み

- ・若者の結婚・出産の希望をかなえるための支援を行います。
- ・地域における子育て支援を充実します。
- ・保育サービス及び幼児教育を充実します。
- ・雇用の安定を図り、特に就労環境が不安定な若年層の雇用の場の確保や就労支援を充実します。等

(基本目標3) 多様な地域が形成され、安心して暮らせる地域社会を実現する～地域の特性に応じた社会環境の創出～

【数値目標】	現状値 (H27)	目標値 (H31)
居住誘導区域の人口密度（住民基本台帳ベース）（人/ha）	60.7	60.7
地域活動（自治会等の活動、ボランティア・NPOの活動など）に参加した市民の割合（％）	27.3	30

【施策①】「多核連携都市」の実現

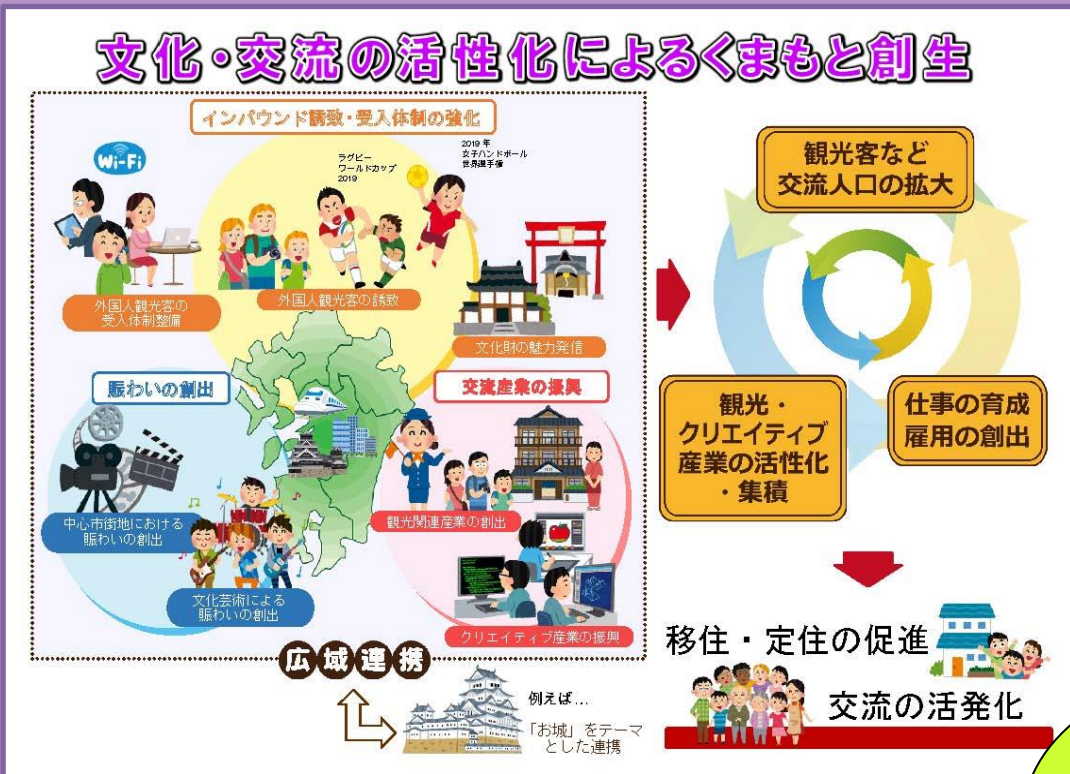
【施策②】安心して暮らせるまちづくりの推進

主な取組み

- ・公共交通ネットワークを充実させ、利便性の向上を図ります。
- ・増加する空き家の対策や住宅性能の向上などの支援により、良好な居住環境の形成を図ります。
- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築を推進します。等

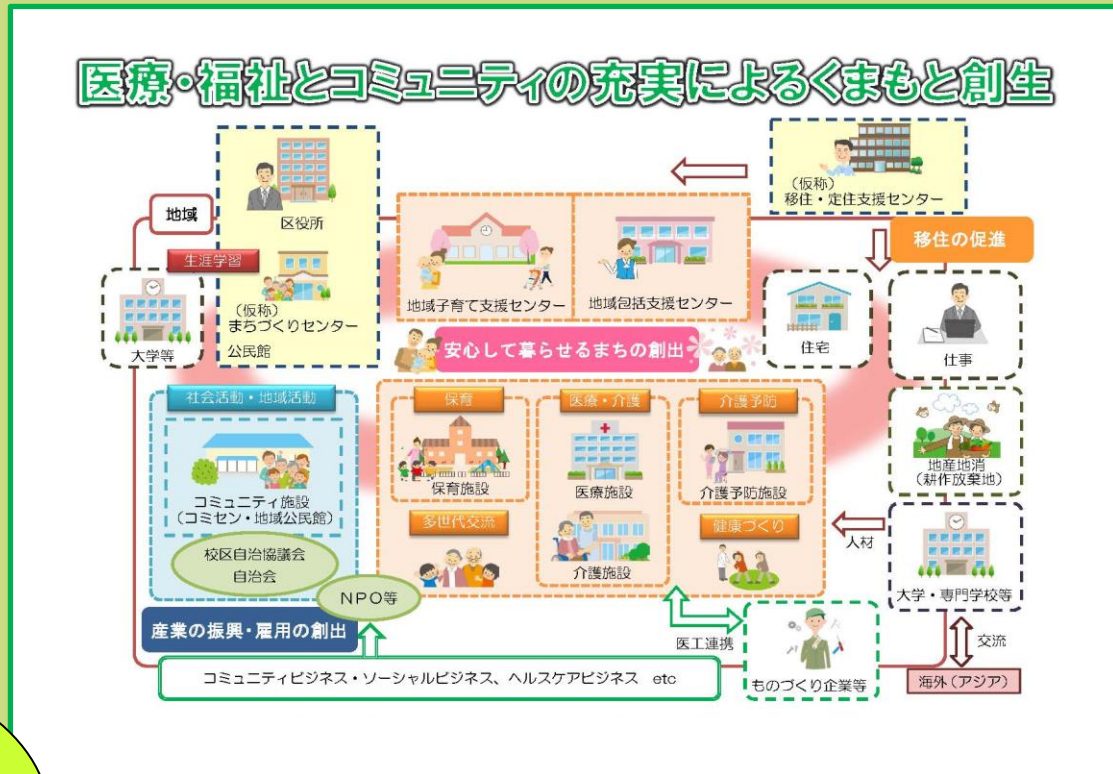
①文化・交流の活性化によるくまもと創生

熊本駅周辺開発、(仮)熊本城ホール、シンボルプロムナード、公共交通網、熊本西環状線など政令指定都市としての基盤が整備される中、それを素地とし、また、熊本城など魅力ある歴史・文化も生かしながら、文化とエンタテインメントを切り口に、政令指定都市にふさわしい賑わいと活気を生み出します。



③医療・福祉とコミュニティの充実によるくまもと創生

医療・介護の充実、医工連携による産業振興、立地適正化による都市機能の維持・確保、区役所、出張所の再編によるまちづくり機能の強化などを基に、健康・福祉を核としたコミュニティづくりを進め、新たな生活基盤の整備や雇用の創出に繋がります。



リーディングプロジェクト

農水産業の振興によるくまもと創生

KUMAMOTO アグリポリス構想 ~「農政新時代」に向けて~



②農水産業の振興によるくまもと創生

農業生産基盤の整備や担い手の育成等に加え、消費者等のニーズを的確にとらえた生産や流通の体制を構築することにより、農産物の全国シェアを拡大します。また、市民が農の魅力を体感できる「むら」と「まち」の対流・共生の好循環を形成し、農業関連産業の拡大・創出を図ります。

地場企業の強化によるくまもと創生



④地場企業の強化によるくまもと創生

全国有数の産出額を誇る農水産物を生かした食品関連産業をはじめ、高齢化の進展に対応するヘルスケア産業、地球温暖化に対応する環境・エネルギー関連産業、都市型産業であるクリエイティブ産業などの成長産業の振興を目指して地域の産学官が連携し重点的に取り組むことにより、地場企業の経営基盤の強化、競争力強化、製品の付加価値向上等を図ります。

豊富な農水産物

多種多様な地場産業